日本工学院専門学校開講年度		2020年度		科目名	デビュープランニング (ソルフェージュ)		ング(ソルフェージュ)	
科目基礎	科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーテ	<del>-</del> ィスト科	コース名	サウンド	クリエイター	-コース	開設期	通年
対象年次	1年次		科目区分	必修			時間数	30時間
単位数	1単位		開講時間				授業形態	演習
教科書/教材	対 毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。							
担当教員情報								
担当教員	山形英恵				実務経験の有無・職種有・教員			

## 学習目的

音楽に関わる者として楽譜の読み方をはじめ必要なリズム・音程等の基礎知識を深め、音楽理論の基礎知識と実際の音との連携により音楽的理解を学びます。特に音感を身に付けること、楽譜を書くこと・リズムを理解することを目標としていきます。相対音感を持つことができるよう、音楽の理論的な知識とともに音の高低を意識し、耳でよく聴くことから始めます。最初は簡単なメロディーを譜面に書けること、読めることをトレーニングしていきます。

## 到達目標

音楽の起基礎能力とされる音感、リズム感、和声感、読譜力を育成し、総合的音楽能力を高めます。前期には8小節のリズム聴音で4分音符、8分音符、16分音符、付点のリズムをマスターします。メロディー聴音では、8小節で♯・♭3つ程度までの各キーでの1オクターブ前後での聴音を目指す。ハーモニーとしては長3度・短3度、完全5度のハーモニーを正しいピッチで取れるようにします。

### 教育方法等

楽譜の基礎、読譜、リズムトレーニング、聴音は単旋律、コード聴音を実施します。リズムは単拍子の分割練習を行うことで、正しいリズム感覚を養います。キーボードとメトロノームを使用し、毎回準備の課題を中心に解説を含めトレーニングしていきます。

#### 授業概要

この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めません。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができま 注意点

評価方法	種別	割合	備  考
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

## 授業計画(1回~15回)

回	授業内容	各回の到達目標
1 回	オリエンテーション	本授業の内容・目的説明
2 🗓	リズム打ち①	四分音符の2分割、3分割、4分割
3 🗓	リズム打ち②	2拍子、3拍子、4拍子、6拍子
4回	リズム打ち③	速度の遅い単純拍子 1
5回	リズム打ち④	速度の遅い単純拍子 2
6回	リズム打ち⑤	速度の遅い複合拍子 1
7 回	リズム打ち⑥	速度の遅い複合拍子 2
8 🗓	リズム打ち⑦	速度の速い複合拍子 1
9回	リズム打ち⑧	速度の速い複合拍子 2
10回	リズム打ち⑨	シンコペーションのリズム
110	リズムパーカッション①	ヴォイスアンサンブル 1
12回	リズムパーカッション②	ヴォイスアンサンブル 2
13回	ボディーパーカッション①	リズムアンサンブル 1
14回	ボディーパーカッション②	リズムアンサンブル 2
15回	まとめ	前期まとめ

# 授業計画(16回~30回)

回	授業内容	各回の到達目標
16回	前期復習	リズム打ちの復習
17回	聴音①	単旋律の聴き取り(C,F)
18回	聴音②	単旋律の聴き取り(G,Am)
19回	聴音③	単旋律の聴き取り (D,A)
20回	聴音④	単旋律の聴き取り(Cm,Dm)
21回	聴音⑤	単旋律の聴き取り(Gm,Em)
22回	聴音⑥	へ音記号の聴音 1
23回	聴音⑦	へ音記号の聴音 2
24回	聴音⑧	単旋律の聴き取りまとめ 1
25回	聴音⑨	単旋律の聴き取りまとめ2
26回	聴音⑩	単旋律の聴き取りまとめ3
27回	聴音応用	転調を含む旋律聴音 1
28回	聴音応用	転調を含む旋律聴音 2
29回	まとめ	1年度のまとめ①
30回	まとめ	1年度のまとめ②